

2023年度

事業報告書

自 2023年4月1日

至 2024年3月31日

一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター

(法人番号 9010405016615)

目次

| | |
|-----------------------------------|---|
| 概要 | 1 |
| 1. 認定審査の質及び認定機関としての信頼性の維持向上 | 1 |
| 2. 認定事業の着実な実施..... | 2 |
| 3. 認定の価値及びサービスの質の向上 | 3 |
| 4. 国際的な活動への参画..... | 3 |

概要

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、ISMS 適合性評価制度の一層の普及が進んだ。ISMS 認証は、2023年9月に7,500件、ISMS クラウドセキュリティ認証は2024年2月に500件をそれぞれ突破した。ISMS-PIMS 認証の件数についても増加した。一方で、ITSMS 認証、BCMS 認証及びCSMS 認証の認証数は横ばいで推移した。

このような状況の下、ISMS-AC の認定事業の重要性は高まっており、一部の立会審査を除いてコロナ禍の発生前の通りに対面で認定審査を実施した。また、委員会のオンライン開催や、テレワークの定常化等、IT 利用による効率化を進めることにより、認定活動全般としては事業計画通りに実施することができた。

認定件数については、2023年11月に新たなISMS 認証機関を1件認定し、ISMS-AC の認定によるISMS 認証機関は全27機関となった。他方、ITSMS 認証については、2機関が認定継続を辞退した。ISMS-AC は2023年度末の時点で、ISMS セクター規格に基づく認証を除き、延べ38機関の認定を実施している。

事業収支については、2023年度における認定の更新の件数が多かったことから、前年度の赤字から黒字に回復した。しかしながら、グローバルに活動する認定機関との競合、物価高による事業支出の増加等の外的要因により、引き続き、厳しい経営状況が継続することが見込まれる。

1. 認定審査の質及び認定機関としての信頼性の維持向上

(1) 認定審査の質の維持向上

認定審査員研修を計11回実施し、認定基準及び関係手順の教育・周知を行うとともに、技術及び制度に関するトピックスを持ち回りで学習した。更に、理解度試験や検証審査に基づいた審査員資格の付与及び格上げを実施して、外部審査員を含めた審査員の力量向上を図った。

審査体制の強化として、複数のマネジメントシステム規格に対応した認定審査員の新規登録を行った。ISMS は認定審査員1名、認定審査員補1名を登録、ITSMS は認定審査員1名、認定審査員補1名を登録、BCMS は認定主任審査員1名、認定審査員1名、認定審査員補1名を登録した。また、要員認証機関については、認定主任審査員2名、認定審査員補2名を登録した。

【ISMS-AC に所属する認定審査員の数】(2023年度末)

| 認定種別 | 認定主任審査員 | 認定審査員 | 認定審査員補 |
|-----------------|---------|-------|--------|
| ISMS | 5 | 2 | 1 |
| ISMS クラウドセキュリティ | 5 | 2 | - |
| ISMS-PIMS | 4 | 1 | - |
| ITSMS | 3 | 2 | 2 |
| BCMS | 3 | 1 | 2 |
| CSMS | 1 | 2 | - |
| 要員認証 | 4 | - | 2 |

(2) 認定機関としての信頼の維持向上

ISMS-AC の Web ページ上に「情報マネジメントシステム認定センターの公平性に関する方針及び目標」を公表し、ISO/IEC 17011 及び IAF 文書等の関連する国際基準に従って認定業務を遂行している。

認定業務に関する公平性分析を行い、上級経営者がレビューするとともに、2023 年 3 月 19 日、ISMS-AC とは利害抵触のない第三者の委員で構成された認定業務公平性検証委員会を開催し、適合性評価機関の認定を行う機関に対する要求事項（JIS Q 17011:2018(ISO/IEC 17011:2017)）箇条 4.4 公平性に関する要求事項への適合を確認することにより、認定の公平性を確保した。

(3) 認定及び適合性評価に関する適切な情報発信及び問合せ対応

ISMS 適合性評価制度のもとで認証を取得する組織が、JIS Q 27001:2023（ISO/IEC 27001:2022）への移行を円滑に完了することを目的として、日本マネジメントシステム認証機関協議会（JACB）、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）と共同主催で移行セミナーを開催し、多くの被認証組織の ISMS 担当者が参加した。

| 会場 | 開催日(2023年) | 現地参加 | オンライン参加 | 参加者計 |
|---------|-------------|------------|---------|--------|
| 東京 | 7月3日 | 165名 | 875名 | 1,040名 |
| 福岡 | 7月7日 | 25名 | 822名 | 847名 |
| 大阪 | 7月18日 | 57名 | 681名 | 738名 |
| アーカイブ配信 | 7月28日～8月31日 | 5,000回超 再生 | | |

また、日本認定機関協議会（JAC）の一員として、IAF/ILAC 2023 年 6 月 9 日「世界認定推進の日」のテーマである「認定：国際貿易の未来を支える」に基づく JAC セミナーを 2023 年 10 月 17 日に開催した。

2. 認定事業の着実な実施

(1) 国際規格に基づいた認定事業の実施

認定審査については、前年度から繰り越しになった案件を含めて、事業計画通りに実施した。

- ・初回 ISMS : 1 件
- ・更新 ISMS : 8 件、ITSMS : 1 件、BCMS : 3 件
- ・サーベイランス ISMS : 18 件、ITSMS : 3 件、BCMS : 2 件、CSMS : 1 件、要員 : 1 件

また、認定委員会を予定通り 11 回開催し、上記審査結果に基づく審議の結果、認定を決定した。すべてオンライン開催としたが、審議上で問題となることはなかった。

【ISMS-AC が認定している認証機関の数】（2023 年度末） カッコ内は 2022 年度比

- ・ ISMS 認証 27 機関（1 機関増）
 - ・ ISMS クラウドセキュリティ認証 18 機関（2 機関増）
 - ・ ISMS-PIMS 認証 7 機関（2 機関増）
- ・ ITSMS 認証 4 機関（2 機関減）

- ・ BCMS認証 5 機関 (増減無)
- ・ CSMS認証 1 機関 (増減無)
- ・ 要員認証 1 機関 (増減無)

(2) ISO/IEC 27001:2022 への認証機関の移行

ISO/IEC 27001:2022 への認証機関の移行の期限(2023 年 10 月 31 日)までに、移行確認に係る認定審査を計画的に実施し、ISMS-AC が認定しているすべての認証機関の移行が完了した。

- ・ JIP-ISAC100-4.1 への移行：全 26 機関完了

(3) デジタル活用を通じた業務の効率化

認定審査の報告書作成期限管理のシステム化を試行して、遅滞のない発行に努めた。また、認定審査に関する打合せでは積極的に遠隔会議システムを利用することで、効率的に業務を進めている。

3. 認定の価値及びサービスの質の向上

(1) 認定に基づく認証の普及拡大

ISMS-AC が認定した認証機関が認証した組織に関する情報が、経済・社会で広く活用されるよう、認証機関から提出されたデータを基に登録組織データベースを更新し、ISMS-AC の Web サイトを通じて、認証取得組織に関する検索機能の公開を継続した。

【ISMS-AC が認定している認証機関が認証している組織の数】(2024 年 3 月 31 日現在)

カッコ内は 2022 年度比

- ・ ISMS認証 7,725 (447 増)
 - ・ ISMSクラウドセキュリティ認証 513 (105 増)
 - ・ ISMS-PIMS認証 57 (11 増)
- ・ ITSMS認証 179 (3 減)
- ・ BCMS認証 93 (2 減)
- ・ CSMS認証 3 (増減無)

(2) 認定へのニーズに基づく事業展開

ISMS 認証取得組織を対象としたアンケート調査を実施し、認定へのニーズを調査した。

また、ISO/IEC 42001:2023 (情報技術—人工知能—マネジメントシステム) の発行に伴い、同国際規格に基づく認証の普及の可能性を調査しつつ、2024 年度の認定事業開始に向けた検討・準備に着手する方針を固めた。

4. 国際的な活動への参画

(1) IAF 及び APAC の活動

IAF (International Accreditation Forum : 国際認定フォーラム) における認定基準及びガイダンスの作成に係る議論に参画するとともに、関連する情報を ISMS-AC が認定した認証機関に適切に提供した。また、APAC (Asia Pacific Accreditation Cooperation : アジア太平洋認定協力機構) のメンバー

である各国の認定機関を評価するピアエバリュエーションに参加した。

2023年度の参加実績

- World Accreditation Day (WAD) プロモーション資料の和訳公開作業 (JAB, IAJapan, VLAC 及び JASaffとの連携) (2023年4月～6月)
- IAF 中間会議 (2023年5月1日～5月4日 ベルファスト (英国))
- APAC 年次総会 (2023年6月25日～6月30日 アナハイム (米国))
- IAF 年次総会 (2023年11月6日～11月15日 モントリオール (カナダ))
- IAF TC WG 下の ISO/IEC 27006-1:2024 への移行に係る IAF MD の策定 TF、IAF MD 17 改訂 TF 等 (2023年11月～2024年3月随時オンライン開催)
- APAC ピアエバリュエーション参加 (2023年7月 CNAS (中国)、2023年11月 EIAC (UAE))
- IAF CertSearch に関する Webinar への参加及び IAF Database Management Committee Chair、JAB との調整 (2023年5月～2024年2月)
- IAF/APAC 案件への投票、IAF MD 文書策定／改訂への意見提出 他

(2) ISO/CASCO への参画

ISO/CASCO (Committee on conformity assessment : 適合性評価委員会) の分科会である WG30 及び WG61 における規格開発に参加し、(一財) 日本規格協会が運営する ISO/CASCO 国内対応委員会において、国際会議における議論の内容を国内の利害関係者に共有するとともに、ISO/CASCO/WG30 及び WG61 において国内利害関係者の意見を反映した。

2023年度の参加実績

- ISO/CASCO/WG61 ISO/IEC TS 17012 リモート手法を用いた審査の実施に関するガイドライン開発 エキスパート (2023年6月及び12月 ジュネーブ(スイス))
- ISO/CASCO/WG30 ISO/IEC 17024 要員の認証を実施する機関に対する一般要求事項の改訂 エキスパート (2023年7月、11月 オンライン参加)

(3) 国際的な活動成果の情報発信

IAF/ILAC 及び ISO/CASCO の活動内容について、日本マネジメントシステム認証機関協議会 (JACB) に対して適時の情報提供を行った。また、2023年「世界認定推進の日」の広報資料として IAF/ILAC が作成した認定の有効性を説明する英文コンテンツを、日本認定機関協議会 (JAC) の活動の一環として翻訳し、Web サイトで情報を発信した。

以上